

<業界レポート>

北米の肥料メーカー（2025 年版）

(2025 年 6 月 20 日作成)

北米はアメリカ大陸の北部にあるカナダとアメリカの 2 か国を指す。2020 年の最新データでは国土面積がカナダ 998.5 万 km²、アメリカ 962.8 万 km²、世界第 2 位と第 3 位である。2024 年現在両国の人口はアメリカ約 3 億 3650 万人、世界第 3 位であるが、カナダ約 4130 万人しかなく、世界 36 位である。両国とも先進国で、2020 年の世界 GDP ランキングではアメリカが 1 位、カナダが 10 位、1 人当たりの名目 GDP ではアメリカが 7 位、カナダが 18 位で、日本の 38 位を遠く超えている。

一、北米の農業規模

カナダとアメリカは先進国だが、広い国土と少ない人口で、大規模な現代農業には最適な地域である。表 1 は国連食糧農業機構（FAO）が公表したアメリカとカナダの耕地面積、農業人口、穀物と油料作物生産量である。

表 1. 2022 年アメリカとカナダの耕地面積、農業人口と 2023 年の穀物、油糧作物収穫量

	耕地面積 (万 ha)	農業人口 (万人)	穀物生産量 (万トン)	油糧作物生産量 (万トン)
アメリカ	15,159.2	266.5	44,891.0	11,523.8
カナダ	3,834.6	25.7	4,403.0	2,530.9
北米合計	18,993.8	292.2	49,294.0	14,054.7
世界に占める割合	13.73%	0.33%	17.35%	30.35%

データ出所：FAO

表 1 に示すように、2022 年アメリカの耕地面積 1 億 5159 万ヘクタール、カナダの耕地面積 3835 万ヘクタールの合計 1 億 8994 万ヘクタール、世界総耕地面積の 13.73% 占めるが、農業に従事する労働力がとても少なく、アメリカが 266.5 万人、全人口の 1.3%、カナダがわずか 25.7 万人、全人口の 0.6% しかない。すなわち、北米の農家は一人あたりに約 65 ヘクタールの耕地を耕作している。

2023 年北米の穀物（コメ、小麦とトウモロコシ）生産量 4 億 9294 万トン、世界総生産量の 17.35% も占めている。その内訳はコメ 990 万トンしかないが、小麦 8127 万トン、トウモロコシ 4 億 477 万トンである。コメ生産量が少ない理由は、カナダの気候が寒すぎて、コメの栽培に適しないため、アメリカのコメ栽培もカリフォルニアなど南部の一部地域に限られている。それでも日本のコメ生産量 1,013.6 万トンと同レベルである。

2023 年北米の油糧作物（大豆とナタネ）生産量 1 億 4055 万トンであり、世界総生産量の 30.35%にも達した。

アメリカは世界最大のトウモロコシ生産国、大豆生産量も世界第 2 位、小麦第 4 位、カナダが世界最大の菜種生産国である。北米産小麦、トウモロコシと大豆、菜種が大量に輸出している。

広い耕地と多くの農産物収穫量を維持するため、多量の化学肥料を施用する必要があり、北米は化学肥料の一大消費地域でもある。また、食糧作物（小麦、コメ、トウモロコシ）は窒素を多く吸収し、りん酸と加里もある程度必要であるが、油糧作物（大豆、菜種）はりん酸と加里を多く吸収するが、窒素吸収量が少ない。従って、食糧作物と油糧作物の各栄養分の需要量が大きく異なる。2019～2022 年の北米化学肥料消費量が表 2、耕地単位面積の化学肥料使用量が表 3 に示す。

表 2. 2019～2022 年北米の化学肥料使用量（万トン）（純 N、P₂O₅、K₂O 換算）

	アメリカ			カナダ			合計
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	
2019 年	1,176.0	394.6	446.9	256.7	113.1	42.7	2,430.0
2020 年	1,192.6	404.9	474.1	304.6	119.4	71.1	2,566.7
2021 年	1,172.3	379.6	442.3	283.0	109.4	89.9	2,476.5
2022 年	1,142.6	367.2	427.1	275.1	102.8	72.6	2,387.4

データ出所：FAO

表 3. 2019～2022 年北米耕地単位面積の化学肥料使用量（kg/ヘクタール）（純 N、P₂O₅、K₂O 換算）

	アメリカ				カナダ			
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	合計	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	合計
2019 年	59.49	24.95	25.04	109.48	59.52	29.14	10.45	99.11
2020 年	60.76	25.78	27.18	113.72	71.39	31.09	17.59	120.07
2021 年	60.19	24.35	25.54	110.08	66.27	28.47	22.22	116.96
2022 年	59.04	23.73	24.84	107.61	64.28	26.69	17.91	108.88

データ出所：FAO

二、北米の肥料産業規模

北米が重要な農産物産地と化学肥料の消費地域であるため、肥料産業の規模も大きい。ただし、先進国であるため、生産効率などを追求して、産業集積度が高く、大手メーカーに集中している。図 1 は 2023 年世界トップ 10 の化学肥料メーカーとその生産能力を示す。そのうち、No.1 の Nutreйн 社はカナダ、No.2 の Mosaic 社と No.8 の CF Industries 社はア

アメリカの肥料会社である。ほかにノルウェーの Yara 社とドイツの K+S 社なども北米に化学肥料工場や加里鉱山を所有している。

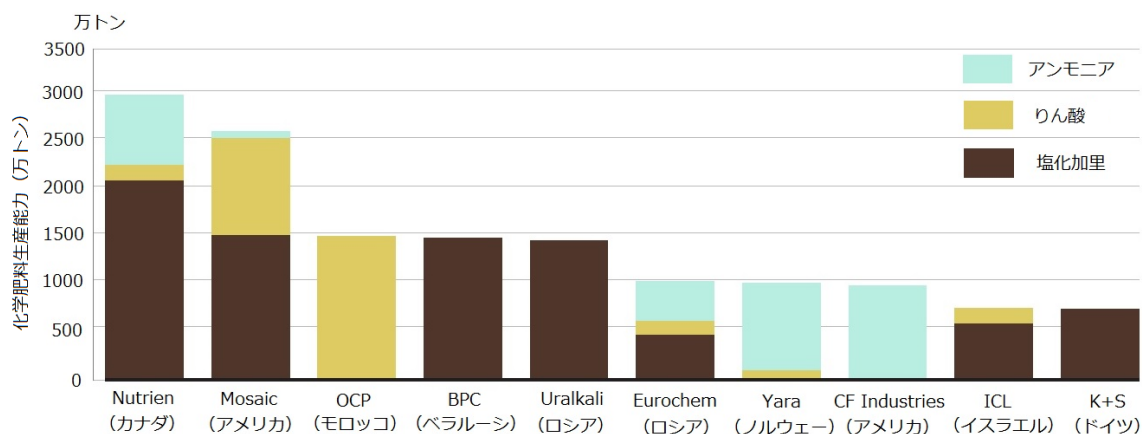


図 1. 世界トップ 10 の化学肥料メーカーとその生産能力

- 註： 1. 2023 年末現在の生産能力。
 2. りん酸は、56%P₂O₅ のマーチャントグレードの酸（MGA）に換算される。
 3. 中国系企業を除く。

出典：Company Reports、CRU

2021～2023 年北米の窒素化学肥料生産能力と生産量、肥料として消費量と肥料以外の消費量は表 4 に示す。

北米ではほかの地域と異なり、窒素肥料が主に尿素、UAN（尿素硝安液肥）と硝安をの 3 種類を使う。特に UAN（尿素硝安液肥）は尿素態窒素、アンモニア態窒素と硝酸態窒素を含有し、速効性であるうえ、液体で施用しやすく、施肥コストが抑えられるので、窒素肥料消費量のほぼ半分を占めるようになった。

表 4. 2021～2023 年北米窒素肥料生産能力、実生産量と消費量（N 換算）（万トン）

年	生産能力	生産量	肥料以外消費量	肥料消費量	消費量合計
2021 年	1,849.2	1,630	650	1,430	2,080
2022 年	1,865.6	1,720	630	1,460	2,090
2023 年	1,869.5	1,740	610	1,430	2,040

データ出所：IFA

2021～2023 年北米のりん酸生産能力と生産量、肥料として消費量と肥料以外の消費量は表 5 に示す。

北米地域はりん酸肥料はりん安（DAP と MAP）だけである。ほかの種類のりん酸肥料、例えば、過りん酸石灰、重過りん酸石灰、熔りんは全く生産されていないし、消費もしない。

表 5. 2021～2023 年北米りん酸生産能力、実生産量と消費量（ P_2O_5 換算）（万トン）

年	生産能力	生産量	肥料以外消費量	肥料消費量	消費量合計
2021 年	719.9	800	90	530	620
2022 年	870.5	710	90	510	600
2023 年	881.5	670	90	500	590

データ出所：IFA

2021～2023 年北米の加里生産能力と生産量、肥料として消費量と肥料以外の消費量は表 6 に示す。

北米の加里生産量と消費量の 95%以上が塩化加里で、肥料としての硫酸加里生産量と消費量は微々たるものである。

表 6. 2021～2023 年北米加里生産能力、実生産量と消費量（ K_2O 換算）（万トン）

年	生産能力	生産量	肥料以外消費量	肥料消費量	消費量合計
2021 年	2,341.3	1,550	140	520	670
2022 年	2,329.3	1,790	130	520	650
2023 年	2,301.6	1,850	130	490	620

データ出所：IFA

2023 年北米の化学肥料産業が世界に於ける位置を表 7 に示す。

表 7. 2023 年北米肥料産業の世界シェア（%）

肥料種類	生産能力	生産量	消費量	そのうち肥料消費量
窒素（N）	9.72%	11.25%	13.86%	13.14%
りん酸（ P_2O_5 ）	13.71%	13.48%	12.53%	12.44%
加里（ K_2O ）	35.94%	36.93%	14.45%	13.24%

データ出所：IFA

2023 年、アメリカとカナダの 2 国は、世界窒素肥料生産量の 11.3%、消費量 13.9%、りん酸肥料を含むりん酸塩生産量の 13.5%、消費量 12.5%、加里生産量の 36.9%、消費量 14.4%を占めている。

三、北米の肥料メーカー

北米化学肥料メーカーの特徴は集積度が高く、特にりん酸系肥料と塩化加里が Nutrein 社と Mosaic 社に寡占されている状況である。以下は主な肥料メーカーを紹介する。

1. Nitrien

Nutrien 社は世界最大の加里メーカーと第 3 位の窒素肥料メーカーである。前身は 1975 年にカナダのサスカチュワン州政府によって設立された Potash Corp 社と 1931 年に設立された Agrium 社で、2018 年 1 月に両社が合併して Nutrien 社となった。

本社所在地はカナダのサスカチュワン州サスカトゥーン市。2024 年末現在、2000 以上の支社と販売店から販売ネットを構成し、25,900 人の従業員を雇っている。北米には 8 つのアンモニア工場と 7 つの尿素工場、4 つの窒素肥料加工工場、2 つのりん酸とりん安工場、6 つの加里鉱山と塩化加里精製工場を有し、肥料と工業用、飼料用として年間 2600 万トンを超える窒素、りん酸塩、加里製品を製造販売している。2024 年の総売上高 259 億 7200 万ドル、純利益 7 億ドル、トロント証券取引所およびニューヨーク証券取引所に上場している。

2. Mosaic

Mosaic 社は世界第 2 位のりん酸メーカーと第 4 位の加里メーカーである。前身は 1865 年に創業した世界最大の穀物メジャーのカーギル社の肥料部門である。2004 年カーギル社の肥料部門がスピンオフして、IMC グローバル社と合併し、Mosaic 社が誕生した。

本社所在地はアメリカのミネソタ州ミネアポリス市郊外のプリマス。2024 年末現在世界 6 か国に鉱山または工場を有し、従業員 13,000 名以上、40 か国以上に肥料を輸出している。北米には 4 つの加里鉱山と 3 つのりん酸鉱山、1 つのアンモニア工場と 5 つのりん酸とりん安工場を有し、年間 2,350 万トンのりん酸塩と加里製品を製造販売している。2024 年総売上高 111 億 2280 万ドル、純利益 2 億 200 万ドル、ニューヨーク証券取引所に上場している。

3. CF Industries

CF Industries 社は世界最大のアンモニア製造会社と北米最大の窒素肥料メーカーである。1946 年に地域農業組合の肥料供給組合として設立され、1960 年代に製品の流通能力拡大と競争力強化のため、化学肥料製造に進出した。1970 年代から 1990 年代にかけて多くのアンモニア工場と窒素肥料工場を建設した。2002 年に組合業態から会社組織に変身し、独立の会社となった。2013 年 Mosaic 社に 14 億ドルでりん酸肥料事業を売却して、窒素肥料専門メーカーとなった。

本社所在地はアメリカのイリノイ州ディアフィールド。2024 年末現在、北米に 7 つのアンモニア工場とその併設されている尿素、硝安、UAN 工場を有し、従業員 3,000 名、年間窒素肥料生産量はアンモニア約 1,000 万トン、尿素約 480 万トン、UAN（尿素硝安液肥）約 730 万トン、硝安約 220 万トン。2024 年総売上高 59 億 4000 万ドル、純利益 12 億 2000 万ドル、ニューヨーク証券取引所に上場している。

4. Koch Industries

Koch Industries 社は 1940 年に設立された Koch 家の非上場同族会社で、その後石油、エネルギー、繊維、金融などに進出して、アメリカではカーギル社に次ぐ巨大な売上高を誇る非上場の多国籍複合企業である。

本社所在地はアメリカのカンザス州ウィチタ。グループ全体の従業員が 12 万人もいる。肥料事業が子会社の Koch Fertilizer が担当している。2024 年末現在、北米に 6 つのアンモニア工場と併設されている尿素、硝安、UAN 工場を有し、年間約 1,200 万トンの窒素肥料とリン酸肥料を製造販売している。

5. LSB Industries

LSB Industries 社は 1968 年に設立された化学メーカーで、主に農業、工業と鉱業に窒素ベースの化学製品を製造販売する。本社所在地はアメリカのオクラホマ州オクラホマ市。アメリカには 3 つのアンモニア工場と併設されている尿素、硝安、UAN 工場を有し、従業員約 600 名、年間農業向けに約 90 万トン窒素肥料、工業と鉱業向けに約 65 万トン窒素化合物を製造販売している。2024 年総売上高 5 億 2240 万ドル、純利益マイナス 1935 万ドル、ニューヨーク証券取引所に上場している。

6. J.R.Simplot

J.R.Simplot 社は 1929 年に設立された非上場同族会社で、冷凍食品加工、肥料製造、家畜飼養その他の農業関連事業を行い、オーストラリア、カナダ、メキシコ、ニュージーランド、中国などに事業を展開して、世界最大の非公開企業の 1 つである。

本社所在地はアメリカのアイダホ州ボイジー市、グループ全体の従業員約 15,000 人。アメリカには 1 つのアンモニア工場と 2 つのりん鉱山と付設のりん酸、りん安工場を有し、年間約 100 万トンりん酸肥料と飼料添加物を製造販売している。

7. CVR Partners

CVR Partners 社はアメリカの大手石油精製会社 CVR Energy 社の子会社で、親会社の石油精錬所から排出された石油コークスを原料に水素に変換してアンモニアを合成する。

本社所在地はアメリカのテキサス州シュガーランド市、アメリカには 2 つのアンモニア工場と付設の尿素工場を有し、従業員約 320 名、年間生産能力は 85 万トンアンモニア、130 万トン UAN（尿素硝安液肥）。北米で最も低コストの窒素肥料生産者および販売業者の 1 つとして知られている。2024 年総売上高 5 億 2500 万ドル、純利益 6100 万ドル、ニューヨーク証券取引所に上場している。

8. Intrepid Potash

Intrepid Potash 社は 2000 年 1 月にカナダの Potash Co.（現 Nutrien 社）から Moab 加里鉱山を買収するために設立された加里専業会社である。2004 年 Mississippi potash 社と

Eddypotash 社から Carlsbad 加里鉍山、ReillyChemical 社から Wendove 加里鉍山を買収して、3 鉍山を運営しているアメリカ最大の加里メーカーである。

本社所在地はアメリカのコロラド州デンバー市、従業員約 800 名、農業と工業に年間約 30 万トン加里製品と 25 万トンラングバイナイト（硫酸マグネシウムカリウム）を製造販売している。2024 年総売上高 2 億 5470 万ドル、純利益マイナス 370 万ドル、ニューヨーク証券取引所に上場している。

四、北米の肥料工場リスト

2024 年末現在、カナダには 5 社 9 つのアンモニア工場、アメリカには 15 社 32 のアンモニア工場があり、年間アンモニア生産能力約 2358 万トン、世界最大のアンモニア生産地域である。表 8 はカナダのアンモニア工場名、所有会社、所在地と生産能力示す。

表 8. カナダのアンモニア工場と生産能力（2024 年末現在）

No.	工場名	所有会社名	所在地	生産能力 (万トン)
1	Carseland	Nutrien	アルバータ州	54.0
2	Fort Saskatchewan	Nutrien	アルバータ州	45.0
3	Joffre	Nutrien	アルバータ州	49.0
4	Redwater	Nutrien	アルバータ州	95.0
5	Courtright	CF Industries	オンタリオ州	45.5
6	Medicine Hat	CF Industries	アルバータ州	113.5
7	Brandon	Koch Fertilizer Canada	マニトバ州	55.0
8	Fort Saskatchewan	Sheritt International	アルバータ州	28.0
9	Belle plaine	Yara Belle Plaine	サスカチュワン州	68.0
	合計			553.0

カナダのアンモニア工場はほとんどアルバータ州にある理由はアルバータ州が天然ガスの産地で、廉価の原料を確保するため、工場が集中しているからである。

表 9 はアメリカのアンモニア工場名、所有会社、所在地と生産の能力を示す。

表 9. アメリカのアンモニア工場と生産能力（2024 年末現在）

No.	工場名	所有会社名	所在地	生産能力(万トン)
1	Augusta	Nutrien	ジョージア州	76.5
2	Borger	Nutrien	テキサス州	47.0
3	Geismar	Nutrien	ルイジアナ州	57.5
4	Lima	Nutrien	オハイオ州	72.5

5	Hopewell	AdvanSix	バージニア州	51.5
6	Donaldsonville	CF Industries	ルイジアナ州	393.5
7	Port Neal	CF Industries	アイオワ州	115.0
8	Verdigria	CF Industries	オクラホマ州	110.0
9	Woodward	CF Industries	オクラホマ州	43.5
10	Yazoo City	CF Industries	ミシシッピ州	51.0
11	Waggaman	CF Industries	ルイジアナ州	80.2
12	El Segundo	Chevron Chem.	カリフォルニア州	2.5
13	Coffeyville	Coffeyville Resources	カンザス州	42.5
14	East Dubuque	Coffeyville Resources	イリノイ州	35.0
15	Beulah	Dakota Gasification	ノースダコタ州	36.5
16	Cheyenne	Dyno Nobel	ワイオミング州	17.5
17	St. Helens	Dyno Nobel	オレゴン州	10.0
18	Rock Springs	J. R. Simplot	ワイオミング州	21.0
19	Geneva	Nebraska Nitrogen	ネブラスカ州	9.0
20	Wever	Koch Industries	アイオワ州	91.5
21	Beatrice	Koch Industries	ネブラスカ州	25.0
22	Dodge City	Koch Industries	カンザス州	26.1
23	Enid	Koch Industries	オクラホマ州	101.5
24	Fort Dodge	Koch Industries	アイオワ州	34.0
25	Cherokee	LSB Industries	アラバマ州	17.0
26	El Dodado	LSB Industries	アラスカ州	44.5
27	Pryor	LSB Industries	オクラホマ州	22.5
28	Faustina	Mosaic	ルイジアナ州	51.0
29	Beaumont	OCI Beaumont LLC	テキサス州	33.0
30	Gordon	Shoreline Chemical	ジョージア州	3.0
31	Greenevill	Austin Powder	テネシー州	6.0
32	Freeport	Yara/BASF JV	テキサス州	75.2
	合計			1,805.2

アメリカのアンモニア工場が主に中南部のアイオワ州、オクラホマ州、カンザス州、テキサス州、ルイジアナ州など農業が盛んな州に立地してある。

2024 年末現在、カナダには 4 社 7 つの尿素工場、アメリカには 7 社 22 の尿素工場がある。尿素年間生産能力約 1684.5 万トン、アジアに次ぐ世界 2 番目の尿素生産地域である。なお、北米の尿素工場はすべてアンモニア工場に併設されている形となっている。表 10 は

カナダの尿素工場名、所有会社名と生産能力、表 11 はアメリカの尿素工場所在地と生産の能力を示す。No.の数字は表 8 と表 9 のアンモニア工場の No.に対応している。

表 10. カナダの尿素工場と生産能力（2024 年末現在）

No.	工場名	所有会社名	所在地	生産能力 (万トン)
1	Carseland	Nutrien	アルバータ州	72.5
2	Fort Saskatchewan	Nutrien	アルバータ州	42.5
4	Redwater	Nutrien	アルバータ州	71.5
5	Courtright	CF Industries	オンタリオ州	29.0
6	Medicine Hat	CF Industries	アルバータ州	73.5
7	Brandon	Koch Fertilizer Canada	マニトバ州	21.5
9	Belle plaine	Yara Belle Plaine	サスカチュワン州	107.0
	合計			417.5

表 11. アメリカの尿素工場と生産能力（2024 年末現在）

No.	工場名	所有会社名	所在地	生産能力 (万トン)
1	Augusta	Nutrien	ジョージア州	63.0
2	Borger	Nutrien	テキサス州	61.0
3	Geismar	Nutrien	ルイジアナ州	40.0
4	Lima	Nutrien	オハイオ州	51.5
6	Donaldsonville	CF Industries	ルイジアナ州	257.0
7	Port Neal	CF Industries	アイオワ州	157.0
8	Verdigris	CF Industries	オクラホマ州	62.5
9	Woodward	CF Industries	オクラホマ州	81.5
10	Yazoo City	CF Industries	ミシシッピ州	29.0
11	Waggaman	CF Industries	ルイジアナ州	24.8
12	Coffeyville	Coffeyville Resources	カンザス州	76.0
13	East Dubuque	Coffeyville Resources	イリノイ州	17.5
14	Beulah	Dakota Gasification	ノースダコタ州	35.0
15	Cheyenne	Dyno Nobel	ワイオミング州	11.0
16	St, Helens	Dyno Nobel	オレゴン州	10.5
19	Wever	Koch Industries	アイオワ州	43.5

20	Beatrice	Koch Industries	ネブラスカ州	18.5
21	Dodge City	Koch Industries	カンザス州	10.0
22	Enid	Koch Industries	オクラホマ州	137.0
23	Fort Dodge	Koch Industries	アイオワ州	30.5
24	Cherokee	LSB Industries	アラバマ州	8.5
26	Pryor	LSB Industries	オクラホマ州	22.0
	合計			1,267.0

カナダにはりん資源が乏しいため、りん鉱山とりん酸肥料工場がない。一方、アメリカのりん資源量は世界第10位で、商業的採掘可能なりん資源量10億トンもある。2024年末現在、4社9つのりん酸工場とりん安工場があり、年間りん酸生産能力（ P_2O_5 換算）約738.0万トン、りん安（DAPとMAP）944.5万トンである。なお、ほとんどのりん酸工場にりん安生産設備を付設して、りん酸を原料にりん安を生産しているが、Mosaic社のUnsel Samりん酸工場だけがりん安生産設備を付設せず、生産されたりん酸を12km離れるミシシッピ川上流にあるFaustinaりん安工場に供給する。

表12はアメリカのりん酸工場とりん安工場の所在地と生産能力を示す。

表12. アメリカのりん酸工場とりん安（DAP+MAP）工場とその生産能力（2024年末現在）

No.	工場名	所有会社名	所在地	生産能力(万トン)	
				りん酸	りん安
1	Aurora	Nutrien	ノースカロライナ州	120.0	90.0
2	White Springs	Nutrien	フロリダ州	50.0	76.5
3	Conda	Itafos	アイダホ州	35.0	35.5
4	Pocatello	J.R.Simplot	アイダホ州	46.0	42.0
5	Rock Springs	J.R.Simplot	ワイオミング州	37.0	35.0
6	Bartow	Mosaic	フロリダ州	110.0	167.5
7	New Wales	Mosaic	フロリダ州	172.0	282.0
8	Tampa	Mosaic	フロリダ州	88.0	120.0
9	Uncle Sam	Mosaic	ルイジアナ州	80.0	—
10	Faustina	Mosaic	ルイジアナ州	—	96.0
	合計			738.0	944.5

カナダには世界1位の加里資源があり、その商業的採掘可能な資源量が45億トンもある。2024年末現在、カナダには3社が10か所の加里鉱山を採掘しているが、建設中の加里鉱山プロジェクトが3社3ヶ所ある。一方、アメリカも商業的採掘可能な加里資源量が9.7億トンを有するが、採掘コストの関係で、現在1社3か所の加里鉱山を採掘しているほ

か、もう 1 社はグレートソルト湖の鹹水を原料にして、太陽熱蒸発を経て硫酸加里とその他の副産物を生産する。建設中の加里鉱山プロジェクトも 1 か所ある。すべての加里鉱山に塩化加里の精製工場が付属して、北米全体の年間塩化加里生産能力 2620.5 万トンがあり、世界最大の加里生産地域である。表 13 は北米加里鉱山の所在地と塩化加里生産能力を示す。

表 13. 北米加里鉱山、精製工場とその生産能力（2024 年末現在）

No.	鉱山名	所有会社名	所在地	塩化加里生産能力(万トン)
カナダ				
1	Allan	Nutrien	サスカチュワン州	240.0
2	Cory	Nutrien	サスカチュワン州	210.0
3	Lanigan	Nutrien	サスカチュワン州	300.0
4	Patience Lake	Nutrien	サスカチュワン州	30.0
5	Rocanville	Nutrien	サスカチュワン州	510.0
6	Vanscoy	Nutrien	サスカチュワン州	110.0
7	Bethune	K+S	サスカチュワン州	245.0
8	Bell Plaine	Mosaic	サスカチュワン州	300.0
9	Colonsay	Mosaic	サスカチュワン州	60.0
10	Esterhazy	Mosaic	サスカチュワン州	545.0
合計				2,550.0
アメリカ				
11	Cane Creek	Intrepid Potash	ユタ州	9.5
12	Carlsbad HB	Intrepid Potash	ニューメキシコ州	15.5
13	Wendover	Intrepid Potash	ユタ州	8.5
14	Ogden	Great Salt Lake	ユタ州	37.0（硫酸加里）
15	Carlsbad	Mosaic	ニューメキシコ州	休止中
合計				70.5
北米合計				2,620.5